

株式会社アニメイト

代表取締役会長 高橋 豊  
たかはし ゆたか



## 図書館

私は本が大好きです。若い時からアウトドア派で、じっとしているより体を動かしている方が好きなのですが、本だけは別で、子供の頃から雨の日など一日中本を読んでいるのが大好きでした。むしろ雨の日が楽しかった位です。母親の話では、ダンボールに入れた自分の本を縁側に持ち出し、全部出している一冊ずつ読んで箱の中に戻していくという様な事を雨の日はいつもしていたようです。

現在ではなかなかそんな時間は取れませんが、移動中は私の大好きな読書タイムです。なので出来れば飛行機より新幹線を利用するようにしています。

# と しょ かん づう しん

## 図書館通信

### トピックス

- 巻頭言 アニメイト代表取締役会長 高橋豊・・・1ページ
- 図書館と私 中央図書館専任(司書) 皆川はるか・・・2ページ
- 生涯の冊 東京音楽大学民族音楽研究所 専任研究員 甲田潤・・・2ページ
- 果物の「四季」 宇笠正純・・・3ページ
- 図書館イベント情報・図書館カレンダー・・・4ページ



発行 ● 豊島区立中央図書館  
東京都豊島区東池袋四一五一一  
ライズアリーナビル四階・五階 〒170-8442  
電話 ● 03-3983-7861  
FAX ● 03-3983-9904  
ホームページ ● <http://www.library.toshima.tokyo.jp/>  
発行日 ● 平成25年10月



あとは「待てる合わせ」です。せっかちな私は、少しでも待たされることをイヤにしてしまうので、待たされる可能性のある相手の場合は書店で待ち合わせをします。その場合はもう全く待たされている事が気になりませんし、むしろ色々本を手にとるのが楽しくて、相手にはなるべく遅れて来て欲しいと思う位です。そんな時には必ず何冊か買ってしまうので、私の部屋には読みたい本が増える一方です。なかなか「在庫」は減っていきませんが、部屋に置いてあるだけでも私の「楽しみ」になっています。めずらしく予定の入っていない休日など、棚に沢山あるまだ読んでない興味深い本達をながめたり、手にとって読んでみるのんびり至福の時です。

今回この原稿を書くにあたり、本当に何十年振りかに図書館に足を踏み入れてみました。久しぶりに入った図書館

## 新航路[28]

## 11月1日は古典の日

11月1日が「古典の日」ということをご存知ですか？

2012年(平成24年)3月に超党派の議員連盟『「古典の日」推進議員連盟』が国の制定する記念日とする法案を議員立法で提出し8月に成立しました。そして、9月5日に「古典の日に関する法律」が公布・施行されました。

では、そもそもなぜ11月1日なのでしょう。以下、社団法人日本図書館協会発行の『図書館雑誌』2013年2月号からの抜粋です。「・・・紫式部日記の寛弘5(1008)年11月1日の条に、藤原公任が宮廷で「あなかしこ このわりに若紫やさぶらふ」と戯れ半分に彼女に問いかけたとの記述が出てきます。「若紫」は源氏物語の登場人物です。これが「源氏物語」が書かれ、読まれていたことが文献上確認できる最も

古い記録であるそうで、この11月1日という日付は、いわば源氏物語記念日です。それから一千年目に当たる平成20(2008)年11月1日に、京都で天皇皇后両陛下のご臨席のもと「源氏物語千年紀」の記念式典が行われました。この式典において、主催者である源氏物語千年紀委員会が「古典の日」宣言を行ったのが「古典の日」の始まりでした。・・・」とあります。紫式部日記が由来だったのです。

今年で2回目の「古典の日」。皆さんも古典文学に触れてみませんか。源氏物語や万葉集など秋の夜長に「古典」の魅力に親しむのはいかがでしょう。図書館では読みやすい現代文で書かれたものや解説付きの古典文学がたくさんあります。どうぞご利用ください。皆さんのご来館をお待ちしています。

## Current & Encounter

### メディアの巨人 松本重治の横顔

豊島区図書館行政政策顧問 粕谷 一希

松本重治は大阪生まれ。南海鉄道をつくった松本重太郎の孫である。東大大学院に入ったとき、関東大震災に遭い、住宅、蔵書、研究室を失い、米国の欧州に留学を決意。エール大学、ロンドン、パリの大学に遊ぶ。米国の太田洋調査会の事務局を勤め、岩永裕吉と知り合い同盟通信社に入り、最初から上海支局長となり、西安事変の国際的スクープを成し遂げた。それで同盟通信社の編集局長となり、近衛文麿の側近となった。

この間、満州問題、中国問題、日韓関係で努力したが、日本軍部が中国からの撤退を承知せず、日中関係、日米関係は破綻し、戦争に突入してしまっただが、戦後は弁護士から始めて、アメリカの原典を学び直し、チャールト・A・ピアードの『共和』を翻訳したことであった。ロックフェラーとの縁で、岩崎小弥太の住んでいた(国有地)を国際文化会館につくり直し、榊山伯爵を担いで鳥居坂に国際文化会館(財団法人)をつくることに成功した。

法学部の関係から嵯山政道(明治二十八年生まれ)と親しく、嵯山の弟芳郎(一高中退)を同盟にひろうってもらい、長男の嵯山道雄を国際文化会館に入会させた。のち、道雄は上智大学に転向したが、国際文化会館のような組織は重治以外は無理と判断したのだろう。親子でも判断は異なっており、独特の保守派だった。

両家は軽井沢の別荘も近かった。ゴルフ場にも一緒に出かけた。私は一度お供をして助手席から二人の対話を聞いていたことがある。嵯山氏が「今度、中央公論社から世界を動かす社会科学講座を出さう」となった」という台詞に、松本氏は「世界は動いても、隣の人は動かない」という台詞もあるが「とまぜっかかした。松本氏にはこのジョークが気に入ったらしく、何回も繰り返していた。二人の親密さを知るべきであった。」

昭和二十三年、長野県生まれ。昭和五十八年に一号店であるアニメイト池袋を開業。以降、漫画・アニメ関連商品を取り扱う専門店として全国に出店を重ね、現在109店舗を展開している。神保町の老舗書店「書泉」の代表取締役社長も兼任。

生涯の一冊 (29)



書名: 『音楽入門』
著者: 伊福部昭
発行所: 現代文化振興會
発行年: 1985年(1951年の同名書の復刊)



東京音楽大学民族音楽研究所 専任研究員 甲田 潤

東京音楽大学研究科(作曲)修了。作曲を伊福部昭氏に師事。日本作曲家協議会、日本現代音楽協会会員。東京音楽大学民族音楽研究所専任研究員、同大付属高等学校兼担講師。

『音楽入門』

伊福部昭先生と私の最初の出会いは、私が東京音楽大学付属高等学校の3年生の時でした。高校の卒業試験の課題として作曲した木管5重奏曲を、レッスンして頂ける事になったのです。それは、当時の東京音楽大学本館の一階奥にあった学長室で行われました。冬の日の夕刻、伊福部先生は黒縁の眼鏡の奥から、怖いぐらいの眼光で私の作品を見て下さいました。私にとって伊福部先生は、多くの方がそうであるように、幼い頃に祖母に連れられて初めて見た、故郷での「シロ」の映画音楽の大作作曲家でありました。またこんな思い出もあります。私が大学3年の時、伊福部先生は、出来上がったばかりの「ヴァイオリン協奏

曲第2番」の楽譜を持ってゼミナールにおいてになり、そのスコアを私たちに見せて下さいました。ところが何の弾みかそれを演奏してみようと言ったことになり、愚かにもちよっとだけヴァイオリンの覚えがあった私が「ソロを弾いてみます」と申し上げてしまったのです。先生がピアノを弾いて下さり、私がヴァイオリンのソロパートを弾く。その結果は、「甲田君が弾くと、どうも音楽にならないねえ」と云う先生のお言葉。ショックも云うよりも私の最も大切な、そして幸せな記憶のひとつとして、今も鮮明に先生のお声と表情が残っています。その後、先生のお側で勤務することになった民族音楽研究所で、笑いと共に伊福部先生の仰るには「そんな失礼な事を言いましたか? それは、それは……」いえいえ、伊福部先生、本当に嬉しくて有り難いお言葉でした。

この伊福部昭著『音楽入門 Music Introduction 1985 (1951)』という11章からなる本は、先生の大著『管絃楽法』に對する伊福部音楽の入門書として、沢山学ぶことがありました。それは「はしがき」に語られる、国立博物館で展示作品を、その解説文から鑑賞しようとする若い人たちがへの警鐘に始まり、音楽の持つ旋律、和声、リズムの意味合いを説いていきます。また「鳥の鳴く声を聴いて欲しいではないか、それなのに何故、自分に向かって作品の説明を求めるのだろう」というカソンの言葉の引用や、「音楽の素材と表現」音楽は音楽以外何ものも表現しない「音楽における条件反射」純粹音楽と効用音楽等々、伊福部先生の音楽を見つめる大切な文章が、凛としてそこに書かれています。

図書館と私 17

中央図書館 図書館奉仕員(司書) 皆川 はるか

「調べること」の楽しさ

図書館には様々な業務がありますが、私が一番好きなのは「レファレンス」です。図書館の利用に慣れている方には馴染みのある言葉かもしれませんが、その一方で、そんな言葉は聞いたこともない、という方もいらっしゃるかもしれません。

「レファレンス」とは、日本語で説明するならば「調べ物のお手伝い」といった感じですが。探している本の書名が特定されていて「図書館にある?」というお尋ねや「〇〇について書かれている本はどのあたりの棚にある?」というご質問の他、「△△について調べているのだけれど、どんな本を見たらわかる?」ということもあります。

比較的短時間でご案内できる場合もありますし、調査にかなりのお時間をいただく場合もあります。調査の過程で、自分が知らなかったことについての新たな知識を得られることもあり、そのような時には本当に楽しいなと感じます。

司書の勉強をしていた頃に、先生から「『ありません。』は言わない」と教えられたことがあります。その時は「そんなことを言っても、ないものはないだろうに…」と思っていたのですが、実際に仕事を始めてみると、確かに諦めずに探せば資料が出てくるケースが想像以上に多く、そのことにとても驚きました。その驚きを重ねるうち、今では「どこかにはあるはず…」と思って資料を探すようになり、見つけたときの「あった!」という瞬間をととても楽しく感じるようになりました。

以前、調べ物で来館されたお客様から「こういうことも調べられる本が、図書館にはあるのですね。」と言っていたことがあり、とても嬉しく心に残っています。これからも日々勉強しながら、みなさまの調べ物のお役に立てるよう努めてゆきたいと思ひます。



～ おたよりコーナー ～



みなさんが読んだ本や図書館にまつわるエピソードを募集しています。今回は豊島区在住の石田勝彦さんの本をご紹介します。

日本人の気質や習俗、宗教などを広く海外へ紹介した人として小泉八雲は有名である。その八雲に遅れること9年で来日、日本と日本人の良さをするとい感性でとらえ、ポルトガルへ多くの原稿を送ってくれた親日家、モラエスの後半生を小説として記したものが、この「孤愁」である。46歳でおユネと神戸で結婚、外交官として活躍したが、妻の死後、公職を辞し、姪のコハルと徳島で文人としての生活に入った。日本人の繊細な気配り、誠実さに感嘆し、また景色の優雅さに深く心酔したモラエスは日本こそ心の安らぎを得る所と決めた。外国人として好奇の目で見られる事は続いたが、それを超越し日本を愛した。コハルも早世、以後

は愛する人の居ない徳島で、自らを襲うサウダーデ(孤愁)に浸る事で、静かに余生を楽しんだ生き方は哀愁が漂う。新田次郎が執筆中に急逝、以後32年を経て子息の藤原正彦が引き継ぎ完結させたこの書は、読後に感銘と深い満足感に浸る事が出来る。



日本を愛したモラエスの本 『孤愁-サウダーデ』 著者: 新田次郎、藤原正彦 発行所: 文藝春秋 発行年月: 2012年11月

『孤愁-サウダーデ』は巢鴨図書館、池袋図書館で所蔵しています。

◆募集内容 ※400字以内

- 紹介したい本とその理由 (書名、著者名、出版社、出版年等もお書きください)
○図書館にまつわるエピソード
○本誌に対する感想、ご意見
◆応募方法
○封書またはメールにてご応募ください。 (メールの場合は、タイトルに「図書館通信おたより係」とご記入ください。
○氏名、年齢、住所、電話番号を明記してください。
○匿名希望の方はペンネームをお書き添えください。

- スペースの都合上、趣旨を変えない範囲で原稿を加筆・修正させていただくことがあります。
○掲載させていただいた方には粗品を進呈します。
○お送りいただいた原稿は返却できませんのでご了承ください。
○採否に関するお問い合わせには応じられません。

【あて先】

〒170-8442 豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル5階 豊島区立中央図書館 図書館通信おたより係 E-Mail: A0027900@city.toshima.lg.jp

# 鶯の「四季」

## 第3回 菊花繚乱の季節を迎えて 豪華な鑑賞用の栽培菊から 楚々とした風情の野菊まで



宇埜 まさずみ  
正純

### <著者プロフィール>

著者は長年、大輪菊の3本仕立てを50鉢余り作っており、花時には仕事仲間など30人ほどを自宅に招いて「菊見の宴」を催している。こんなことから「鶯菊まつり」の当初にはお手伝いをした、という。

### ◆菊のメッカは「鶯」

中国では1000年も前から菊の栽培が行われていたというが、日本で盛んになったのは江戸中期以降。鶯の植木屋がこぞって栽培や育種に取り組んだ。伊藤三之丞の『花壇地錦抄』(元禄8年・1695)には菊230種が記されている。

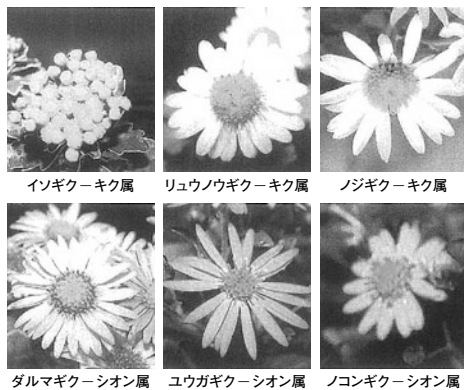
寛政7年(1795)、菊が大流行。時の將軍徳川家齊公は「鶯の菊が見たい」と鶯の植木屋第11代保坂四郎左衛門に「菊御用」を命じ、翌寛政8年から本丸下で菊栽培が行われた。安永期(1771-181)に出版された『四時遊覧記』にも「菊は鶯を第一」とある。鶯の菊は文化(1804)に入ると、菊で鶴亀などの姿形を現す「造り菊」が隆盛となり菊番付けが売られるほど。弘化2年(1845)には80数軒が競ったという。しかし、これが最盛期で、団子坂の菊人形に移っていく。

### ◆栽培菊のルーツは中国か？

菊のルーツは中国とも言われる。私はそこで中国の古典で怪異な話を集めた『聊斎志異』の中に菊の話があることを思い出した。それは、「黄英」という表題の物語(明治書院刊・聊斎志異2巻)である。ごく簡単に内容を次に記す。「北京に住む馬子才さん。珍品を求めてどこへでも行く菊好きである。ある日、陶黄英という姉とその弟と知り合い自分の畑に住まわせた。二人は菊を栽培して売り、裕福になった。やがて馬の奥さんが亡くなり黄英が後妻となり共に暮した。

弟は大酒飲みで友人と飲んで菊畑で倒れると身体が菊となった。馬さんはこのとき二人が菊の精であることに気付いた。弟が再び倒れたとき菊の姿となって枯れてしまった。黄英が必死に手入れをすると芽を出し、酒の香りがする白い花を咲かせた。

これは、人と菊の精との交りの物語であるがなんと六朝期(3~6世紀)の話というから超



インギクーキク属    リュウノウギクーキク属    ノジグクーキク属  
ダルマギクーシオン属    ユウガギクーシオン属    ノコンギクーシオン属

古。中国がルーツというものがつづける。ところが、牧野富太郎博士は「日本の栽培菊のルーツは日本の野生種ノジグク『野地菊』である」として学名を付けている。一方中国では崇寧3年(1134)の『菊譜』に35品を記し、花形、品格から「龍腦菊」を第一としている。が、リュウノウギクが日本の野生種でもあることから面白い。

### ◆楚々とした野菊の風情

美の極致といわれる鑑賞菊はすばらしいが、日本人は楚々とした野菊の風情が大好き。とくに盆栽界や華道界では重用される。そこで日本盆栽協会の勝亦隆雄公認講師に話を伺った。「野菊とは野生種の総称で「ノギク」という植物はない。キク科には2属あって一つはキク属、学名は Chrysanthemum。ノジグク、リュウノウギク、インギクなど。もう一つがシオン属で学名は Aster。ユウガギク、ノコンギク、ダルマギクなど。花型は変わらないが、葉はキク属はいわゆる菊の葉。シオン属は切れ込みが小さいので判別しやすい。この時期、山野で見つけたら採取して地植えでも鉢でも活着する。来年も芽を出してくる。大いに風情を楽しんでほしい」とは勝亦講師の弁である。

## あうるすぽっとからのお知らせ

### ホワイエリーディング 劇団昴の『クリスマス・キャロル』

一年を締めくくるクリスマス、大切な人と心にしみる名作を――

あうるすぽっとのクリスマス恒例公演『クリスマス・キャロル』が、今年もホワイエ・リーディングで登場！  
そして今年も入場無料・予約不要、どなたでもご覧いただけます。「劇場はちょっと気が引ける」、「子どもがいて劇場は…」という方もお気軽にお越しください。この機会に劇場「あうるすぽっと」に足を運んでみませんか？

#### 【クリスマス・キャロル】

クリスマス・イブの夜、ちで頑固な老人スクルージは 死んだ同僚マーレイの亡霊と過去・現在・未来の精霊たちに導かれ、時空を超えた不思議な時間を過ごす。  
そこに見たものは、孤独な老人スクルージが過ごした少年時代、スクルージが気づかずにいた温かな家族の営みや愛情、そして未来に待っている恐ろしい出来事……。すべての時間が過ぎた後に訪れる一人の老人の心の再生――。  
人間への慈しみにあふれた物語です。  
○原作：チャールズ・ディケンズ    ○脚本：菊池 准(演劇企画JOKO)  
○演出：河田園子(演劇企画JOKO)

あうるすぽっとからのクリスマスプレゼント  
先着  
100名様  
入場無料!



入場無料・申込み不要・先着順(100名様)  
直接会場にお越しください


日程 12月24日(火) 15:00～  
12月25日(水) 15:00～  
※開場は開演の30分前  
会場 あうるすぽっとホワイエ(2F)

# 図書館イベント情報

## ◆児童・あかちゃんおはなし会

毎週、本の読み聞かせなどイベントを行っています。遊びに来てくださいな。

- 各図書館の連絡先
- 中央図書館 3983-7861
  - 池袋図書館 3985-7981
  - 駒込図書館 3940-5751
  - 目白図書館 3950-7121
  - 巢鴨図書館 3910-3608
  - 千早図書館 3955-8361
  - 上池袋図書館 3940-1779
  - 雑司が谷図書貸出コーナー 3590-1335

主催/会場	おはなし会開催日		スペシャルイベント		
	幼児・小学生	あかちゃん	10月	11月	12月
中央図書館 児童コーナー (※印は会議室)	日曜日 午後2時	最終日曜日 午前11時 (12月は 15日に実施)	★6日・おはなしろうさく会 午後2時 ★27日・おはなし会 0・1・2スペシャル 午前11時※ ★27日・おはなし会 文字・活字文化の日スペシャル 午後2時	★3日・おはなしろうさく会 午後2時 ★16日・豊島岡女子学園中学高等学校による おはなし会 午後2時 ★24日・ボランティアによるおはなし会 午後2時 (虹のポケット)	★22日・冬のスペシャルおはなし会 午後2時※
駒込図書館 (駒込地域文化 創造館)	土曜日 午後3時 (10/5,11/23は お休み)	第1水曜日 午前11時	★26日・おはなしのはこ 文字・活字文化の日スペシャル 午後3時		★21日・おはなしのはこ クリスマススペシャル 午後3時 ★25日・おはなしのはこ0・1・2 クリスマス会 午前11時
巢鴨図書館 地下会議室	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時	★9日・ほんのじかん こうさくかい 午後3時 ★23日・ほんのじかん 文字・活字文化の日スペシャル 午後3時	★13日・ほんのじかん スライド 午後3時	★18日・ほんのじかん 冬のお楽しみスペシャル 午後3時
上池袋図書館 おはなしのへや (※印は 地下ホール)	水曜日 午後3時	最終水曜日 午前11時※	★23日・さくらんぼおはなしかい 文字・活字文化の日スペシャル 午後3時	★27日・さくらんぼえいがかい 午後3時※ 「きこりとヘルメス」(12分) 「ミッキーマウスのキャンピングカー」(8分)	★18日・さくらんぼクリスマス会 午後3時※
池袋図書館 ワークルーム	土曜日 午後2時30分	第1水曜日 午前11時 あかちゃんたんぼぼ	★12日・たんぼぼこうさくかい 午後2時30分 ★19日・おはなしたんぼぼ 文字・活字文化の日スペシャル 午後2時30分 ★26日・たんぼぼえいがかい 午後2時30分 「小さなバイキングビッケ ハルバルの宝箱」 (30分)	★23日・たんぼぼえいがかい 午後2時30分 「赤鼻のトナカイ ドルドル物語」(48分) ★30日・たんぼぼこうさくかい 午後2時30分 「クリスマスの壁飾り作り」	★21日・たんぼぼクリスマスかい 午後2時30分
目白図書館 地下区民集会室	水曜日 午後3時	第1水曜日 午前11時	★23日・ことばのたからぼこ☆ 午後3時	★27日・かきくけこうさくかい 午後3時	★18日・あいうえおはなしかい クリスマススペシャルおはなし会 午後3時
千早図書館 視聴覚室	水曜日 午後3時30分	水曜日 午前10時30分	★23日・ほんとこおはなし会 文字・活字文化の日スペシャル 午後3時30分		★18日・クリスマススペシャルおはなし会 午後3時30分

日程・会場等が変更になることがあります。事前にお問合せください。

## ◆「10月27日は文字・活字文化の日」～図書館おはなし会のご案内～

知的で心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現を目指して、平成17年7月に文字・活字文化振興法が制定されました。それに伴い、毎年10月27日を「文字・活字文化の日」と定め、文字・活字文化についての関心と理解を広く深めるための様々な取組みが行われています。区内各図書館では、子ども達に向けて下記の催しを行ないます。詳細は各図書館へお問い合わせください。

図書館	実施日時・実施期間	行事名	場所	内容
中央図書館	10月27日(日) 午後2時から	文字・活字文化の日 スペシャル おはなし会	児童コーナー	絵本の読み聞かせ、 大型紙芝居、手遊び など
駒込図書館	10月26日(土) 午後3時から	おはなしのはこ スペシャル	駒込地域 文化創造館 音楽室	大型絵本の読み聞かせ、 紙芝居、手遊びなど
巢鴨図書館	10月23日(水) 午後3時から	ほんのじかん 文字・活字文化の日 スペシャル	地下会議室	絵本の読み聞かせ、 手遊びなど
上池袋図書館	10月23日(水) 午後3時から	さくらんぼおはなしかい 文字・活字文化の日 おはなしかいスペシャル	地下ホール	大型絵本の読み聞かせ、 パネルシアターなど
池袋図書館	10月19日(土) 午後2時30分から	おはなしたんぼぼ 文字・活字文化の日 スペシャル	ワークルーム	絵本の読み聞かせ、 パネルシアターなど
目白図書館	①10月14日(月) ～11月21日(木) ②10月23日(水) 午後3時から	ことばのたからぼこ☆	①児童特集 コーナー ②集会室	①児童書展示 ②スペシャル おはなし会 (大型絵本等の 読み聞かせ)
千早図書館	10月23日(水) 午後3時30分から	ほんとこおはなし会 文字・活字文化の日 スペシャル	2階 視聴覚室	絵本の読み聞かせ、 紙芝居、手遊びなど

### ○千早図書館友の会主催○

## 「千早進歩自由夢月例会」

※10月・12月例会は往復はがきによる事前申込制。11月例会は申込不要です。

### ◆千早進歩自由夢(10月例会)

#### 史跡散歩「立教大学池袋キャンパスを訪ねる」

日 程 10月18日(金)  
集 合 場 所 13時30分

立教大学池袋キャンパス(正門前集合)  
立教大学池袋キャンパスを歩き、主に歴史的  
建造物を見学します。(日江戸川乱歩を除いて  
各建物内には入れません)。  
また、昨年新たにオープンした立教大学池袋  
図書館の館内も見学します(館内の資料は開  
覧できません)。  
立教大学池袋図書館では職員の家がつけ  
ます。

定 員 立教大学までの交通費は自己負担です。  
20名(事前申込制。応募者多数の場合は抽選  
となります)

費 用 傷害保険料 一人 50円(現地支払い)  
申込方法 往復はがきで、右下参照の上、必要事項を記  
入してください。

締切は10月4日(金)(必着)。  
参加の可否については、10月10日前後に返  
信はがきにてお知らせいたします。

### ◆千早進歩自由夢(11月例会)

#### 公演会「みちのくに心よせて」

日 程 11月16日(土)  
集 合 場 所 14時から16時(開場:13時30分)

会 場 千早図書館 2階 視聴覚室  
公 演 朗読:おはなしの会(福富・見崎・吉原・高山)  
解説:高山 音楽担当:室積

内 容 みちのくに(福島・宮城・岩手)の昔話や伝説  
の朗読  
会津白虎隊(構成朗読)  
土井聯琴(作)「熊鷹の月」の合唱?など

定 員 50名(先着順)

### ◆千早進歩自由夢(12月例会)

#### 講演会「私の「朗読」のめざすもの」

日 時 12月14日(土)  
集 合 場 所 14時から16時(開場:13時30分)

会 場 千早図書館 2階 視聴覚室  
講 師 小林大輔(元フジテレビアナウンサー)  
講演内容 ・我が子が寝る前に聞かせる母親の読み  
聞かせの効果  
・私が指導する朗読教室の目標  
・朗読をやるようになった動機  
・朗読に必要なこと

朗読作品 1.「賢者の贈り物」(オー・ヘンリイ作)  
2.「雪女」(小泉)  
3.「耳を洗う」(小塚八重作)

●講演の展開によっては、2作品の朗読になる  
場合もあります

●「賢者の贈り物」は「雪女」は、スクリー  
ンに絵を写して朗読します

朗読講座 1942年生まれ。1965年、早稲田大学卒業と  
同時に、フジテレビにアナウンサーとして入社。  
以来、同局の看板番組「夜のヒットスタジオ」  
をはじめ、ショー番組・情報番組に出演。

現在は、司会とともに新しい分野「朗読」を  
開発。心を伝える新しいタイプの朗読者として  
深い感動を呼んでいる。

定 員 50名(事前申込制。応募者多数の場合は抽選)  
申込方法 往復はがきで、右下参照の上、必要事項を記  
入してください。

募集開始は10月1日(火)、  
締切は12月1日(日)(必着)。  
参加の可否については、12月上旬にお知らせ  
いたします。

### ○往復はがきの記入方法○

往復はがきの往復裏面にイベント名を大きく  
記入の上、「住所・氏名・電話番号」を記入して、  
下記送付先までお送りください。

〒171-0044 豊島区千早2-44-2  
豊島区立千早図書館

今年の夏はとて暑い(熱い?)夏でしたね。ようやく過ぎや  
すい季節になりました。11月1日は「古典の日」です。たまには  
古典文学に触れ親しんでみませんか。(あ)

### 編集後記

○は は 日 祝	中央図書館	駒込・巢鴨・上池袋・池袋・目白・千早図書館	雑司が谷図書貸出コーナー
平日	午前10時～午後10時	午前9時～午後7時	午前10時～午後7時
土日祝	午前10時～午後6時	午前9時～午後5時	午前10時～午後5時
10月	日 月 火 水 木 金 土 ⑥ 7 8 9 10 11 ⑫ ⑬ ⑭ 15 16 17 18 ⑰ ⑱ 20 21 22 23 24 25 26 ⑳ ㉑ 22 23 24 25 26	日 月 火 水 木 金 土 ⑥ 7 8 9 10 11 ⑫ ⑬ ⑭ 15 16 17 18 ⑰ ⑱ 20 21 22 23 24 25 26 ⑳ ㉑ 22 23 24 25 26	日 月 火 水 木 金 土 ⑥ 7 8 9 10 11 ⑫ ⑬ ⑭ 15 16 17 18 ⑰ ⑱ 20 21 22 23 24 25 26 ⑳ ㉑ 22 23 24 25 26
11月	③ ④ 5 6 7 8 9 ⑩ 11 12 13 14 15 ⑰ ⑱ 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 ⑳	③ ④ 5 6 7 8 9 ⑩ 11 12 13 14 15 ⑰ ⑱ 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 ⑳	③ ④ 5 6 7 8 9 ⑩ 11 12 13 14 15 ⑰ ⑱ 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 ⑳
12月	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9 10 11 12 13 ⑭ ⑮ 16 17 18 19 20 ⑰ ⑱ 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9 10 11 12 13 ⑭ ⑮ 15 16 17 18 19 20 ⑰ ⑱ 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9 10 11 12 13 ⑭ ⑮ 15 16 17 18 19 20 ⑰ ⑱ 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

## 豊島区のシンボルマークが新しくなりました

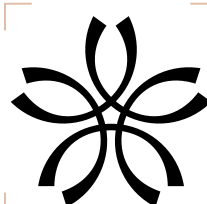
区制施行80周年記念事業実行委員会より区民アンケートの結果を踏まえて区に提案された候補案が、平成25年第1回区議会定例会において議決されました。

今後、区民の皆さんにPRしていくとともに、未永く使用していきます。

### 「人と人、過去から未来へのつながり【架け橋】」

シンボルマークの説明

豊島区の木「ソメイヨシノ」の花が形づくる曲線が「架け橋」として、人と人のつながり、過去から未来へのつながりを表し、区民が誇れる「ふるさと豊島」の象徴となるような願いが込められています。



図書館カレンダー